

平成 27 年度「教育改革の総合的推進に関する調査研究

～第 2 期教育振興基本計画の分析に係る調査研究～

【趣旨】

教育振興基本計画（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定。以下「第 2 期計画」という。）の成果目標・成果指標の達成度合いや、各基本施策の進捗状況の客観的な点検、その後の施策の在り方や次期教育振興基本計画の策定に向けた検討に資することを目的として、第 2 期計画の成果目標や成果指標、基本施策等の因果関係を整理・分析する。

【委託先】

株式会社 三菱総合研究所

【調査研究内容】

第 2 期計画に記載の全ての成果目標、成果指標、基本施策等について、インプット、アウトプット（結果）、アウトカム（成果）の相互の関係を、ロジックモデル（※）の作成を通じて、整理・分析する。なお、この整理・分析に当たっては、有識者等からなる委員会を設置し、ヒアリング調査等をもとに、その適切性・妥当性を検証する。

※ ある施策がその目的を達成するに至までの論理的な因果関係を明示したもの。

(参考) 第2期計画検討時における成果目標等設定に当たっての考え方について

成果目標等
設定の
考え方(案)

- 最終的には「最終アウトカム」を目指すべきであるが、発現に長期間を要するとともに、教育政策以外の様々な要因が介在するため、「教育政策の成果」についての測定は困難。
- このため、成果目標・指標については、「知識・能力の定着」など、教育政策による寄与が比較的大きいと考えられる「中間的アウトカム」をベースとしつつ、それが困難な場合には、「アウトプット」に係る目標・指標を設定することとしてはどうか。
- また、計画に掲げる成果指標は例示であって、他の指標の活用や新たな指標の開発等を考慮することも必要ではないか。
- 以上を前提として、各成果目標の達成に向け、必要な具体的方策を工程を含めて記述してはどうか。

